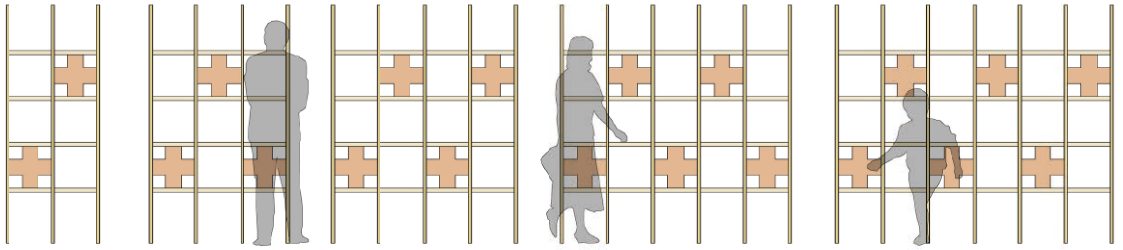


十字型の背板はデザインのアクセントに





伊勢神宮の桧材を伝統的な手法で伐り出す伐採式



壁を背にしても、窓際に置いても映える、便利でスタイリッシュな 35 センチ格子の壁面棚。棚板をはずして縦長にも使えます



大型本も十分納まるサイズ感で収納量を確保！



同じシステムでどこまでも横に広げられます



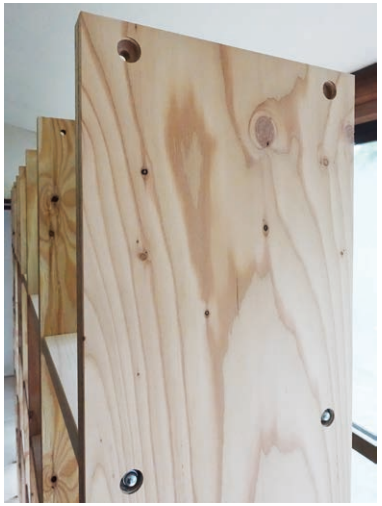
店舗のディスプレイには棚下照明を追加可能！

DIY で壁一面につくる
上質な木の壁面棚システム

伊勢神宮の式年遷宮に使う最上級の桧を産出する山村、加子母（かしも）は、
岐阜県中津川市にあり古くから桧の名産地として注目されてきました。
WOPTION（オプション）はそんな加子母の上質な木を使って、
DIY で壁一面にオープンでオシャレな壁面棚を作れる新しいシステムです。

高さは約 1.8m で、幅は空間に合わせていくらでも横につないで広げられます。
壁一面の本棚にするのも良し、窓際で光を取り込む飾り棚とするのも良し、
オフィスの間仕切り収納として両面遣いも良し、店舗のショーウィンドウにも。
端正な 35 センチ格子のデザインは和の空間にも洋の空間にもマッチします。

1. 縦板

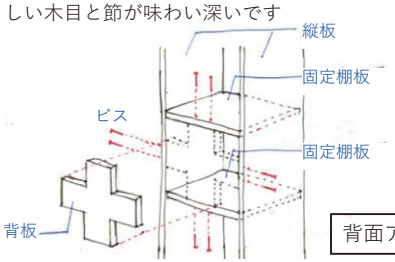


3. 背板



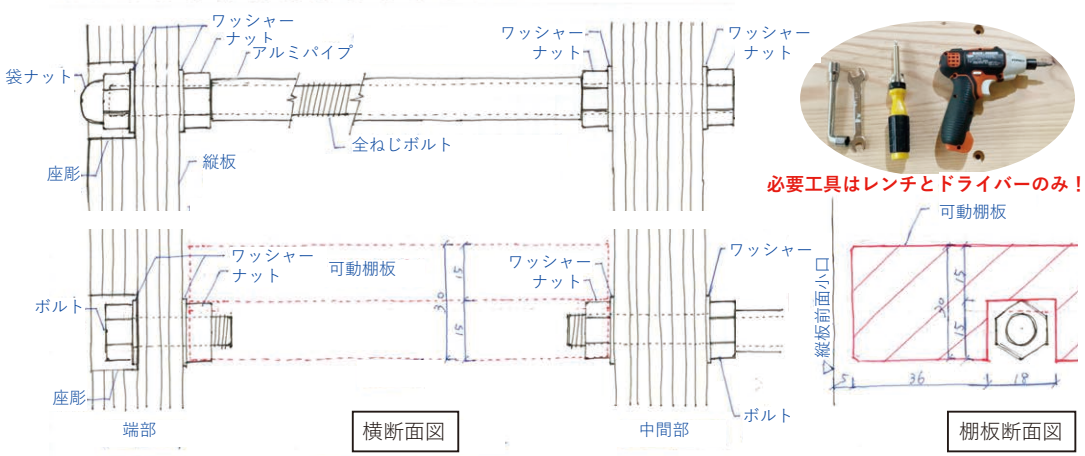
加子母産カラマツ構造用合板

加子母の合板工場で生産されている岐阜・長野で採れたカラマツを使った積層合板です。材料に粘りと強度があるので構造部分に用います。端正な東濃桧とは対照的な荒々しい木目と節が味わい深いです



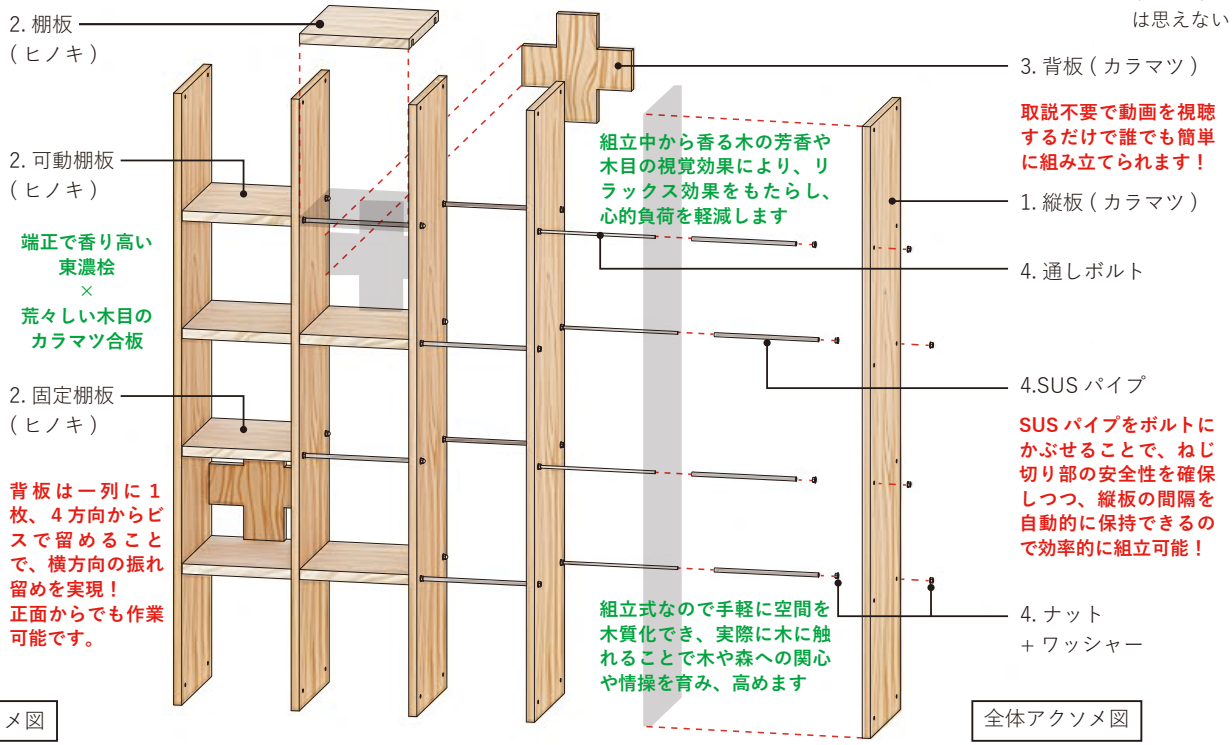
背面アクソメ図

縦板をボルトで横につなぎ、ボルトをダボ代わりにして棚板を乗せるだけの簡単組立システムです



横断面図　棚板断面図

必要工具はレンチとドライバーのみ！



全体アクソメ図

2. 棚板



加子母産ブランド「東濃桧」

淡いピンクで艶のある木肌を持ち、均一できめ細やかな木目が特徴の東濃桧。そのなかでも、節がほとんどない上小節材を 30 ミリの厚さで贅沢に使いました。端正な木目と芳醇なヒノキの香りで、DIY で作ったとは思えないような高級感のある仕上がりになります。



加子母産スギ（オプション）

桧と同じく上小節材で、心材と辺材で赤白が混ざり、木目もくっきり出ます。桧に比べて軽量で柔らかい材です。

設計仕様

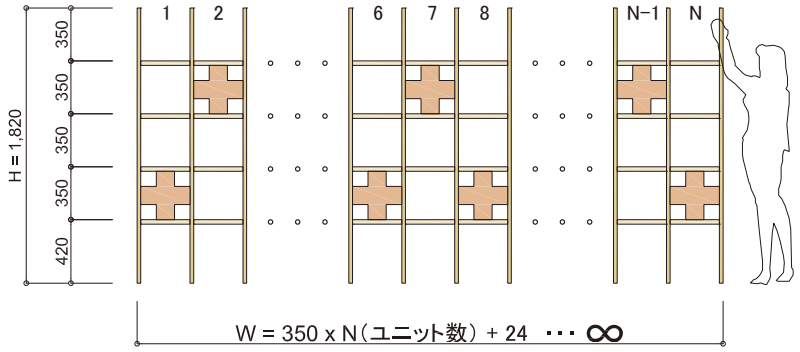
1. 縦板：カラマツ構造用合板
　　t=24　素地　3x6 版を用いる
2. 棚板：①ヒノキ上小節幅はぎ材
　　t=30　素地　（標準）
　　②スギ上小節幅はぎ材
　　t=30　素地　（オプション）
3. 背板：カラマツ構造用合板
　　t=24　素地
1. ～ 3. は全て加子母にて現地調達する
4. 金物：ボルト、ナット、ワッシャー、SUS パイプ

加子母の上質な木材 × 新しい DIY 組立システム

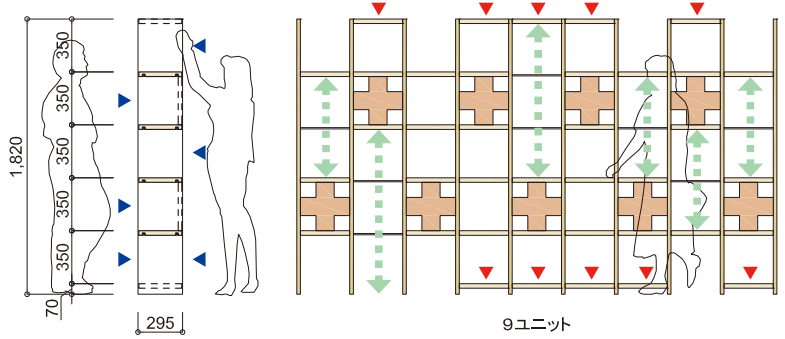
WOPTION（オプション）は高さ 1820 の縦板を前後互い違いにボルトでつなぎ、そこに棚板を置くだけのシンプルで新しい棚の DIY 組立システムです。
贅沢に使った無垢材の棚板に溝があり、完成するとボルトは見えなくなります。
十字の背板も取り付け簡単で、高い意匠性と組み立てやすさを両立しました。

荒々しい木目が特徴のカラマツ合板と端正で香り高い上質な東濃桧材を、敢えてタテ・ヨコに組み合わせることでデザインのアクセントとしました。
木材は全て加子母産の上質な木を採用しているので長く使うことができ、ランバー材に突板を張っただけの量産家具と違って経年変化も楽しめます。

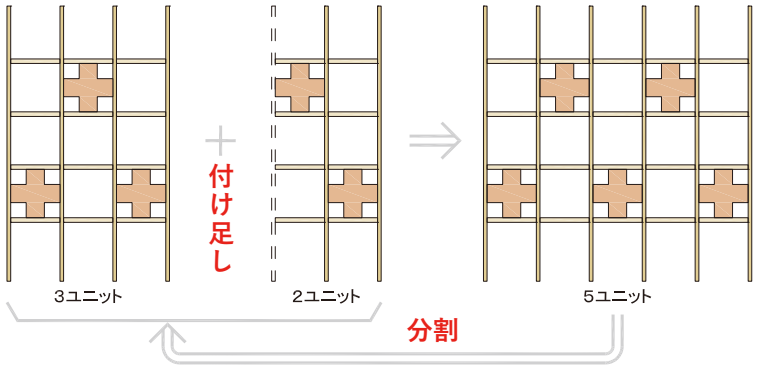
① 女性でも１人で組立可能、空間に合わせて好きな幅でオーダーできます



② オモテウラ両面から使ったり、棚板を上下段に追加したり、
棚板をはずして縦長に使ったりと、多彩な収納バリエーションを楽しめます



③ さらに解体せずに立てたまま付け足しや分割が可能で、解体もお手軽です



WOPTION のライフサイクルイメージ図

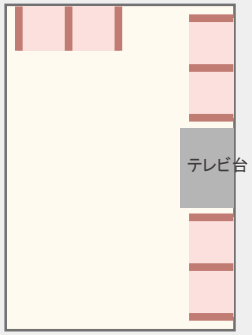


組立前の材料の状態

引越し／再利用
何度も再利用できるので、森林資源を有効活用可能！

組立
誰でも簡単に４ユニットを２時間程度で組み立て！

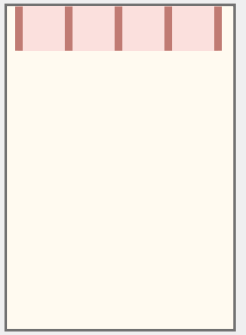
解体
組立よりも更に簡単に短時間で解体できます！！



３分割してＬ型レイアウトとし、２台の間にテレビ台を設置

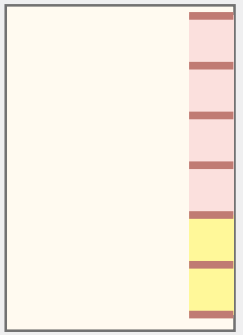


間仕切り家具として両面遣いも可能！



初めて WOPTION を購入
短い壁に面して４ユニットを設置

模様替え １回目
物が増えても大丈夫！！棚を付け足せば OK です。



長い壁面に移動し、２ユニット追加

模様替え ２回目
分割もできるから、ライフスタイルの変化にも対応できます！！

多彩なライフスタイルを実現する３つの特徴

WOPTION（オプション）は最小限の工具で誰でも簡単に組み立てられ、
空間や配置に合わせて好みの幅にオーダーできる壁面棚システムです。
標準品で上下段に棚を足したり、間の棚を抜いたりと多彩な収納方法があり、
両面から使えるので間仕切り収納や商品ディスプレイとしても最適です。

さらに後から付け足しや分割、再結合が容易なため模様替えに対応でき、
解体すれば部材ごとにコンパクトになるため、引越しにも困りません。
そんな WOPTION（オプション）はそのときどきのニーズに合わせて形を変え、
使い手のライフスタイルにいつまでも寄り添えるデザインが最大の特徴です。

加子母が抱える課題：

加子母には「東濃桧」のブランド桧材と杉材が豊富にあり、林業と木造建築業を主産業としてきたが、昨今は国内外の情勢の変化から林業従事者や製材所、工務店は経済的に厳しい状況にある。

- きちんと森林の手入れをして節の少ない木材を作ったとしても、和室の需要も減り柱を見せない大壁の設計が一般的になったため需要が少なく、高く売れないため、利益が出にくい。
- 安い外国産材が台頭し、少人数、小面積で生産される加子母産材では価格と物量で対抗できない。
- 国産の杉・桧は全国的に存在するため、地域圏外ではなかなか採用されにくい。

問題解決に向けて：

1．加子母の木を建築材として遠方で使うのは難しいが、家具ならばコンパクトに梱包し本州の中央にある加子母から全国に届けられる　→　加子母の木を全国に知ってもらうチャンス！

2．丸太から切り出される芯持ち柱よりも辺材の板材の方が立米当たりの取引価格が高く、板材として家具で使うことに利点がある　→　加子母に利益が還元され、森林が守られる！

3．お客様に木の芳香や手触りをじかに感じていただき、良質な木材の良さを知ってもらうことで長期間使っていただく　→　多くの二酸化炭素を固定し、地球温暖化防止にも寄与します！



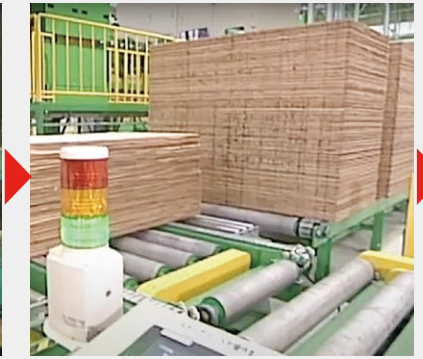
加子母の森林は世代の異なる木が育つ複層林として整備されています



二人一組で山に入り、成熟した桧や杉を伐り出し、林道で山から下ろします



丸太は製材所で乾燥し、製材します。柱や梁などの建築材の他、板材などに加工されます



加子母の合板工場では岐阜県・長野県産材のカラマツを合板に加工しています



製材所と合板工場から材料を仕入れ、NC 加工機により穴あけや溝掘りの加工します

WOPTION の利益は森林に還元！！

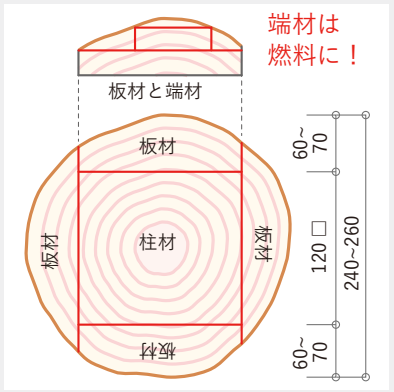
材料調達から加工・発送まで完結！！



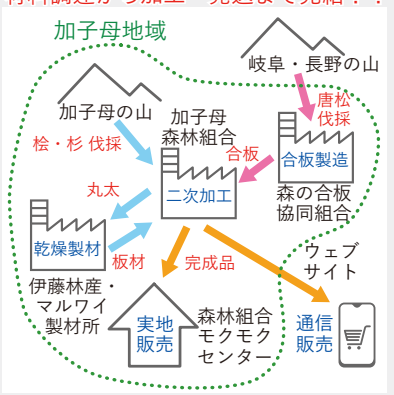
消費者のもとに届き、組み立てられ、部屋に桧や杉、カラマツの芳香が広がります



加子母は本州の中心に位置しているので、全国に発送するのにも効率的です



現在は一等級の柱材の需要減で高く売れないので、板材をしっかりと利用する必要アリ！



材料調達から加工までが全て加子母地域内で完結するので、省エネかつ省コストです



材料の加工が終わると梱包し、発送されます。注文をもらってから発送まで約２週間です

WOPTION（オプション）が創り出す加子母産木材と地域産業の循環サイクル

加子母の木をアピールして地域経済にアクセルを

古くから良質なヒノキの産地として注目され続けてきた中津川市加子母。
豊富な森林資源を活かした林業と木造建築業が盛んな地域でしたが、
業界を取り巻く環境・時勢の変化から産業衰退が急速に進んできています。
質の高い木材が売れない、使われない、利益が出ないという悩ましい状況です。

そこで良材を建材としてではなく、先進的な組立家具キットとすることで、
木材の販売網を広げるとともに、全国に加子母の良質な木材を PR できます。
加子母の木を加子母で伐採・製材・加工し、加子母から発送することで、
価格を抑えつつ環境負荷にも配慮し、地域経済に好循環を生み出します。

KFA 加子母森林組合 KASHIMO FORESTRY ASSOCIATION

森林管理・伐採・二次加工・販売

×

㋐ 伊藤林産有限会社
㋽ 有限会社マルワイ製材所

乾燥・一次加工製材

×

IIDA SPACE DESIGN

デザイン・販促・販売



私たちは加子母から全国の皆さんの元に 加子母の上質な木を使い 様々な場面で活躍する WOPTION(オプション) をお届けします！！

























使いやすさを充実させ

広がるWOPTIONの可能性

林業から原木販売と二次加工・販売までを行っている加子母森林組合と、
加子母産材を丸太から乾燥・製材を行っている伊藤林産とマルワイ製材所、
加子母に思い入れのある IIDA SPACE DESIGN の四社からなる開発チームです。
加子母の木の魅力を全国に知ってもらうべく、生産・販売体制を整えています。

私たちは様々な場面で採用していただけるように発売後も日々改良を重ね、
間接照明や扉・すだれの追加、横長マスなどのラインナップも揃えています。
さらに WOOD コレクション 2024 + /2026 にも出展して使い方を実演し、
専用販売サイトや SNS での導入事例公開など、発信に力を入れています。